※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　標準古典探究　（第一学習社）						
副教材等	新国語便覧（デジタル版・第一）・体系古典文法、古典文法要点整理ノート（数研）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典について学ぶ中で、古の人の考え方や価値観に理解を深めましょう。
現代の私たちの考え方・価値観がすべてではなく、多面的なものの見方や考え方を身につけるきっかけにしてください。
しっかりと予習をして授業に臨みましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	当時の和歌の役割を考える ［教材］古今著聞集	a:古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 b[読]:著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 c:学習の見通しをもって、小式部内侍と和泉式部に関する資料を理解し、進んで調べようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	無常観の背景を理解する ［教材］方丈記	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b[読]:鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 c:作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	作者の思いと宮中文化を捉える。 ［教材］枕草子	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:作者が取り上げている事物や対象、経験などを通して、当時の人のものの見方や考え方に触れる c:随筆に表れたものの見方、考え方を積極的に読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
2学期	昔ばなしが継承された理由を考察する ［教材］御伽草子	a:文語のきまりについて理解を深める。 b[読]:昔話として現代まで継承された話を読み、現実と非現実が入り混じる世界に生きる登場人物の心境を読み取る。 c:作品の中で和歌が果たす役割に注意しながら、内容を積極的に捉えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	時代における和歌の変遷を知る ［教材］古今和歌集	a:和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める b[読]:和歌という文章の種類や古典特有の表現に注意して、内容を的確に捉える。 c:和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	故事成語を通して漢文の読み方を復習する ［教材］朝三暮四	a:訓読のきまりについて理解を深める。 b[読]:故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 c:故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

３学期	武将たちの葛藤を読み取る ［教材］赤壁之戦	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:史伝という文章の種類を踏まえて、構成や展開を的確に捉える。 c:時代背景をふまえて登場人物の言動を粘り強く読み取り、そこに表れたものの考え方をまとめようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート ノート
	俳句の基本を理解し、創作する 俳句を作ろう	a:我が国の文化の特質について理解を深める。 b[書]:「切れ字」に焦点を置き、俳句を創作する。 c:学習課題に沿って切れ字を用いて俳句を創作しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート	ワークシート ノート

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　　）時間